



118号

ゆとりニュース

—— 連合飯田地協ニュース ——

発行日 2014年10月9日
 発行所 飯田市丸山町1-8-6
 飯田労働会館内
 発行人 中島修司
 編集人 高見智久
 電話 0265(24)0030

飯田市と連合の懇談会

地域づくりは市民協働「飯田市政懇談」



連合飯田地協は、8月18日に飯田勤労者福祉センターで、6回目となる飯田市との懇談会を開き、組合員100名余が参加した。飯田市からは牧野光朗市長と幹部7名が出席。連合の参加者には周辺町村居住の方、連合推薦市議の顔も見られた。



市政経営の思いを語る牧野市長

南信地域は飯田市が中心となる定住自立圏が構成されており、前半は広域連合長でもある牧野市長から、人口減少時代における地方都市の再構築、地域医療・介護支援体制、産業支援と人材育成、新たな交通網を見据えた都市構造の検討など、飯伊地域の中心的立場にある飯田市政の主な取り組みについて説明された。

関する市の取り組み、介護離職防止や労働教育の要望など、1時間で13件のディスカッションがされ、市長からは「連合飯田の皆と思いを共有していける。行政と市民が協働の地域をつくって欲しい」と締めくくられた。

飯田市は地区毎に市政懇談会を行っているが、仕事の都合などで現役世代の参加が少なく、参加しても地域色が強いために広域的な地域づくりの意見交換がしにくい雰囲気がある。連合は組合員が地域行政に係わる機会を設け、地域づくりの意識を醸成する機会を目指している。

後半は、参加者の質問や意見に市側が答える形で、



元気な町、高森「高森町政懇談」



質問する参加者
(高森町政懇談)

連合飯田地協は、9月11日に高森町政懇談会(熊谷元尋町長との懇談会)を高森町吉田区民会館で開いた。連合飯田地協は町村での懇談会は初めてであるが、同町居住の組合員らが50名余集まった。集会では連合推薦の熊谷町長と3名の町幹部から、町

の重点的な取り組みの説明を受け、その後意見交換を行った。地方の人口減少に歯止めがかからな

い中、高森町はH25年に飯伊地域で唯一人口が増加した市町村であることは誇らしいとし、「市田柿」と、ゆるキャラ「柿丸くん」のPRなどを通して高森町を盛り上げていきたいとした。また、高森中学校改築、リニア中央新幹線長野県駅の活用などに触れ、町長の思いが語られた。

意見交換では、安心安全・地産地消の給食の提供、小学校・保育園の空調整備、新エネルギーの活用、公契約条例の制定要望など、時間を超過する質疑答弁がされた。閉会後も参加者が町長に更に質問をする場面もあった。



元気があったかな町の思いを語る熊谷町長

満蒙開拓に触れる

連合飯田・平和学習会

連合飯田地協は、8月30日に阿智村の「満蒙開拓平和記念館」で下伊那地区労組会議と合同で平和学習会をおこない、組合員ら60名が参加した。

前段では、自身も身内や友人に満蒙開拓団員をもつ森田恒雄さん(満蒙開拓記念館副館長)から、日本がどのように満蒙開拓へと突き進んでいったか、国策として半強制的に開拓団として満州に渡ったこと、若い開拓団員は国に裏切られ現地で徴兵させられたこと、残された女性や子どもはソ連の侵攻や現地民の暴動により生きるために死の逃



終戦当時の開拓団を取り巻く様子を語る森田副館長

避行を余儀なくされたことなど、残酷な満蒙開拓団の歴史についてお聞きした。

その後、館内の貴重な当時の記録・資料の見学、証言を記録したDVD鑑賞を通じ、当時の日本の状況や満蒙開拓団の暮らしなどについて、更に理解を深めた。

下伊那郡阿智村駒場 711-10

TEL 0265-43-5580

開館 9:30~16:30/休館 毎火曜、第2・4水曜

満蒙開拓平和記念館

連合・エコライフ21運動 活動紹介① ▶ 飯田市役所 ～駐車場をシェアして意気投合～



公共交通優遇制度を利用し、乗合バスで通勤する飯田市役所の皆さん

飯田市職員労組では、低炭素社会の創出を目的とし、自家用車通勤者が公共交通機関や二輪車、徒歩による通勤を行う「エコ通勤」を労使一体となって推進しています。

2012年3月に行った労使協議の結果、エコ通勤者として登録を行うと、①毎日使用しなくなる駐車場を登録者で共有でき使用料が安くなる、②公共交通機関利用(バス定期券等の購入)に対する優遇措置なども受けられる、ようになりました。

写真は、信南交通㈱の「乗合バス」を利用している様子です。時には、同じバス路線を利用している仲間同士が「バスの会」と称して集い、懇親を深めているようです。

皆さんも、公共交通機関を利用したエコライフを体験してみはいかがでしょうか。(福)



連合飯田・青年層交流会

6月7日開催の連合飯田地協の青年層交流会に参加された皆さんの感想です。(116号続き)

ドッジビーで交流 (in 多摩川精機 体育館)



焼肉で懇親 (in 市役所食堂)

【参加者の声】

- 違う会社の人たちと交流を深めることができた。次回も是非参加したい。
- 普段の運動不足解消を考えていたが、それ以上に飲み食いしてしまった。
- 職場の枠を越え多くの人と交流し、大変有意義な時間を過ごせた。交流の大切さと日々の運動不足を痛感した。
- チームは最下位だったが、焼肉の盛り上がりはダントツ1位だ!
- 初めての参加だったが他組合の方と交流ができ、親睦を深めることができた。
- 楽しい時間をありがとうございました。
- 様々な方と交流ができる貴重な機会だった。
- 熱気に溢れた素晴らしい会だった。来年も参加したい。
- 新聞ゲームや未知のスポーツに興じ、非常に楽しかった。
- 同じ地域で働く同世代の交流する機会をこれからも大切にしたい。



残業代ゼロより過労死ゼロ! 生涯派遣で低賃金の“派遣法改正”にNO!